

しものなるかを知るを得べし、且つ又た古來北方の字音は必らずしも悉く中原のそれを以て律し得べきに非ず、此等廣韻集韻等の載する音以外種々轉訛したる音を有せしものなることは屢々認めらるゝ例なりとす、今糾字の今音について學士の引用せられたる Giles の漢英字典の載する所を見れば、すでに擧げられたる kau, kiu, ko 等の外 ch, c の音を以て始發音とする地方甚だ多し、即ち

Canton.	'kau
Hakka.	kiu
Foochow.	'kiu, 'kieu
Wenchow.	ciau, ,ciau
Ningpo.	ciu
Peking.	,chiu, 'chiu chiu'
Mid-china.	,chiu
Yangchow.	,chiéu
Ssuch'uan.	chiu
Korean.	ku, kiu
Japan.	ku, kiū
Annamese.	ku

と記せり、之によれば今日此の文字について k を以て始發音とするものは Canton, Hakka, Foochow, Annamese 等の南方音及び朝鮮日本等に止り、其の他の地方に於ては、悉く ch もしくは c を以て始むるものなるを知るを得べく、九、久等類似の音を有するものに就てもまたかゝる現象を認め得べし、かく現今廣く行はるゝ ch, c なる此の字の頭音は何時より發生したるものなるかについては、恐らく何人と雖明らかにか之を定むる能はざるべしと雖思ふにこれ近代に至りて俄かに起りたることには非るべく、南人もしくは中原地方の人の ㄐ, ㄑ 等と發音するものは、北方人によりては、古くより ㄐ, ㄑ 等と發音せられたりしものなるべし、果して然らば黑韃事略の著者彭大